

ノスカピン 100mg/g 散

溶出試験 本品約 0.3g を精密に量り，試験液に pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液 900mL を用い，溶出試験法第 2 法により，毎分 50 回転で試験を行う．溶出試験開始 45 分後，溶出液 20mL 以上をとり，孔径 0.45 μ m 以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液 10mL を除き，次のろ液を試料溶液とする．別にノスカピン標準品を 105 で 4 時間乾燥し，その約 0.03g を精密に量り，0.1mol/L 塩酸試液に溶かし，正確に 100mL とする．この液 5mL を正確に量り，pH4.0 の 0.05mol/L 酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液を加えて正確に 50mL とし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長 310nm における吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の 45 分間の溶出率が 80% 以上のときは適合とする．

ノスカピン ($C_{22}H_{23}NO_7$) の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 900$$

W_S : ノスカピン標準品の量 (mg)

W_T : ノスカピン散の秤取量 (mg)

C : 1g 中のノスカピン ($C_{22}H_{23}NO_7$) の表示量 (mg)

ノスカピン標準品 ノスカピン(日局).ただし,乾燥したものを定量するとき,ノスカピン ($C_{22}H_{23}NO_7$) 99.0% 以上を含むもの．

ノスカピン 30mg錠

溶出試験 本品1個をとり，試験液にpH4.0の酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液（0.05mol/L）900mLを用い，溶出試験法第2法により，毎分50回転で試験を行う．溶出試験開始15分後，溶出液20mL以上を正確にとり，孔径0.45 μ m以下のメンブランフィルターでろ過する．初めのろ液10mLを除き，次のろ液を試料溶液とする．別にノスカピン標準品を105 で4時間乾燥し，その約0.03gを精密に量り，0.1mol/L塩酸試液に溶かし，正確に100mLとする．この液5mLを正確に量り，pH4.0の酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液（0.05mol/L）を加えて正確に50mLとし，標準溶液とする．試料溶液及び標準溶液につき，pH4.0の酢酸・酢酸ナトリウム緩衝液（0.05mol/L）を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行い，波長310nmにおける吸光度 A_T 及び A_S を測定する．

本品の15分間の溶出率が80%以上のときは適合とする．

ノスカピン（ $C_{22}H_{23}NO_7$ ）の表示量に対する溶出率（%）

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 90$$

W_S ：ノスカピン標準品の量（mg）

C ：1錠中のノスカピン（ $C_{22}H_{23}NO_7$ ）の表示量（mg）

ノスカピン標準品 ノスカピン（日局）．ただし，乾燥した物を定量するとき，ノスカピン（ $C_{22}H_{23}NO_7$ ）99.0%以上を含むもの．